



4/25 (水) 優勝称え、輝くてだこ市民賞

3月に新潟県で開催された「風間杯第55回全国高等学校選抜レスリング大会」の学校対抗戦で浦添工業高校が県勢初の団体全国制覇の栄冠を勝ち取りました。九州勢としては33年ぶりの優勝です。

また、翌月に神奈川県で開催された「2012年度 JOC 杯全日本ジュニアレスリング選手権大会」では、男子カデットの部（グレコローマンスタイル）100kg級で同高校の宮國雄太さんが優勝を果たしました。今回、その両者の功績を称え、本市の「輝くてだこ市民賞」が贈られました。宮國さんからは「今後も上位入賞できるように頑張りたい」と決意を込めて挨拶がありました。

同JOC杯では、69kg級で屋比久翔平さん（輝くてだこ市民賞第2号）も2連覇を達成しました。



4/24 (火) こいのぼり 元気に空へ

児童福祉週間の一環として、4月24日に市役所玄関前広場にて「こいのぼり掲揚式」が行われ、市内の保育園児ら約700人が招待されました。市長らとともに園児がロープを引くと、こいは風を受けて高く空へのぼり、大きな歓声が上がりました。

また、式では児童らによる歌とダンスや児童センター厚生員による「フラピンジャー」のアトラクションもあり、園児らは大満足の様子でした。また、市役所1階市民ホールでは「健やかな成長パネル展」、市民広場では「ミニミニこいのぼり展」が同時開催されました。



4/13 (金) 安全確認 元気に登校

パイプラインの内間交差点にて「春の交通安全街頭指導」が行われました。これは、4月に初めて学校へ通う新入学児童へ交通ルールの指導、また運転者へ交通マナーを習慣づけることを主な目的としています。

今回は、市長・警察署長をはじめ、警察官や地域の方が参加し、交差点の横断歩道で黄色い横断旗を使って交通安全指導に務めました。子ども達は横断歩道を渡る際、しっかり左右の安全確認をして、元気に学校へ登校していました。



5/11 (金) 5/13 (日) 学びの可能性は無限大

5月11日にてだこ学園大学院、5月13日にてだこ市民大学の入学式が、中央公民館でそれぞれ行われました。

てだこ学園大学院には、47人が入学しました。新入学生代表で豊浜弘さんは「老いたときに、学ぶことは気力と体力を伸ばし、長生きにつながる。2年間を楽しく有意義に過ごし、卒業後は地域に還元したい。」とこれからの学習に期待を膨らましていました。



また、てだこ市民大学では、48人が入学し、新入学生代表として叶信之さんが「グローバルな視野と身近な郷土へ目を向けるバランスを持ち、夢である建築の道に携われるよう学びたい。各々が目的意識を持つことで、学びの可能性は無限大です。」と挨拶しました。

入学生は皆、希望と信念を胸に、これから学生ライフを過ごしていきます。



4/24 (火) 市民憲章実践者表彰式

4月24日、市民憲章実践者表彰式が行われました。これは自然愛など5項目からなる浦添市民憲章について、積極的に実践や推進している個人・団体へ贈られるもので、今年は個人18人、1団体が表彰されました。

表彰式で、市民憲章推進協議会会長の比嘉さんは「市民憲章の実践は、市の良さを高め、大きな力になることと思います」と挨拶し、受賞者は、「今後も生き生きと楽しんでやりたい。地域を愛するといった気持ちをもち続けたい」とこれからの意欲を語りました。

4/25 (水) 中西 繁『廃墟と再生』展

「中西繁『廃墟と再生』展」開会式が浦添市美術館エントランスホールで行われました。一昨年の4月に開催された「『棄てられた街』in沖縄 中西繁展」での反響が大きく、二度目の開催に至りました。中西さんの作品は単に優しいだけでなく人々の哀愁を誘うものです。作品はそれぞれ戦争、原発事故、震災等を独特の世界観で表現され、高い評価を受けています。中西さんは「今回、関係者の方々は皆ボランティアで協力してもらっております。皆さんの協力の上、2回目の開催ができ、とても光栄に思っております。」と挨拶しました。

展示期間中は関連イベントもあり、中西さんは講演会や作品の公開製作も行いました。

